

ぶらり歴史散策

第1回

「御船の原始（1）」



住居と土坑（大塚遺跡－縄文時代後期）



縄文時代後期土器（阿高式）

御船の土地に人間が登場するのは、約3万年前の旧石器時代。吉無田高原の一带に多く遺跡が存在しています。当時は狩猟を主な生業としていたため、そこに長く滞在することはなかったのですが、良い狩場だったのでしよう。ナイフ形石器など、時代を象徴する多くの石器が周辺で採集されています。その後も約2万年間、人がいた痕跡が確認されています。

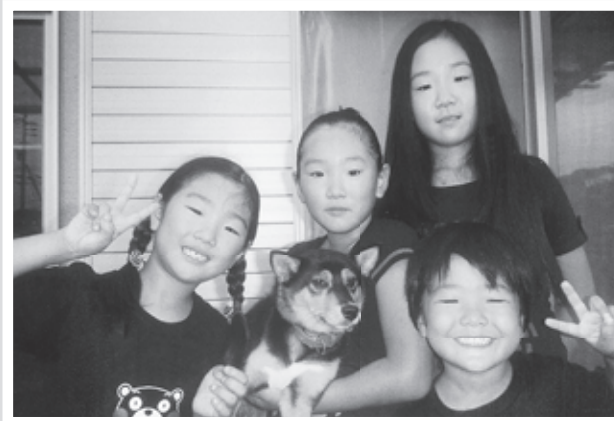
一方、御船の全体に人の生活の痕跡が現れ始めるのは、縄文時代早期（約12,000～7,000年前）の押型文土器を携えた人々です。残念ながら人が長くその場所に暮らし、た証拠である住居跡は確認されていませんが、これから先、どこで見つかるかもしれません。

明確な住居跡が確認されたのが縄文時代後期（約3,500年前）。クリーニング工場の施設建造予定地

の調査で確認されました。当時の住居は現在の家とは異なり、地面に穴を掘って床を作り、穴を数カ所に開けて柱を立て、藁などを葺いて屋根を作るといった簡素なものでした。柱や屋根葺き材は朽ちて無くなっています。人が掘った穴はゆつくりと時間をかけて埋まっていき、周りの地面とは異なる色調になるため、発掘調査で見られることとなります。

また、御船は縄文時代の貝塚が2カ所あります。一つは熊本県上益城地域振興局あたりの辺田見貝塚も一つは高速沿いの甘木貝塚です。熊本で最も内陸にある貝塚の一つでもあります。貝の種類が定かではないため汽水域（海水と淡水が混ざる場所：海岸近く）であったかは不明ですが、狩猟に限らず貝なども食料としていたことがわかります。

子育て日記



長女・彩那ちゃん（11歳）
二女・御生ちゃん（9歳）
三女・喜久ちゃん（7歳）
長男・徳彦くん（5歳）

御船で子育てができる幸せ

御船町で子どもたちの生きる力を育てたい！そう思い、2年前に引っ越してきました。御船町の自然と人の温かさに生まれ、子どもたちは、心も体もたくましく成長しています。裸足でバッタを追いかけたり、近所の方に野菜を収穫させていただいたり、薪をくべて煙に涙したり…そんな経験や人との関わりが、子どもたちの糧となり宝になると思っています。御船町にきて、たくさんの人たちが子どもたちに温かく声をかけ、手を貸し、心を配ってくださいました。そんな温かい御船の人たちに見守られ、子どもたちがいただいた、たくさんの優しさを、いつか恩返ししていけるような、素敵な大人になってくれるといいな…そう、願っています。

（文・写真／中原育代お母さん・滝川）

自分で分かる変化

- ☐ 毎日の生活に充実感がない
- ☐ これまでに楽しんでやれていたことが、楽しめない
- ☐ 以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる
- ☐ 自分が役にたつ人間とは思えない
- ☐ わけもなく疲れたような感じがする



2項目があてはまり、その状態が2週間以上ほとんど毎日続いていて生活に支障がでている場合は、「うつ病」の可能性があります。うつ病は『心の病』というイメージがありますが、実際は脳内の神経伝達物質の減少が原因であることが分かっており、治療が必要な病気です。

行政相談窓口

- ☐ 県精神保健福祉センター ☎386-1166
- ☐ 御船保健所 ☎282-0016
- ☐ 役場健康いきいき推進課 ☎282-1602

本人の相談が難しい場合は、まず周りの家族、地域の人の相談も受け入れます。



健康へのイベント

ストレスが招くこころの病気

ストレスは、たまりすぎると心の病気を招いてしまうことがあります。こころの病気は誰もがかかる可能性があります。気になる不調が続いたら、早めに相談・受診しましょう。



Library Information

町立図書館 カルチャーセンター1F
☎ 282-0888 休館日／毎週月曜日

Book おすすめ 今月の本

ロスジェネの逆襲

池井戸 潤 著

バブル世代の主人公が飛ばされた証券会社が舞台。親会社から受けた嫌がらせ人事での圧力は知恵と勇気で倍返し。ロスジェネ世代の部下とともに周囲をあっと言わせる秘策に出る。



明治・妖モダン

畠中 恵 著

江戸が明治に改まって20年。煉瓦街が並びアーチ灯が夜を照らすモダンな銀座に掘立小屋のようにして建つ派出所。勤務する巡査の滝と原田は相談事の解決に奔走するが…。



新刊書情報

9月は84冊の本が入りました

- 一般書（45冊）
 - 小説／ドS刑事（七尾 与史 著）
 - エッセイ／救う男たち（亀山 早苗 著）
 - 料理／いいこといっぱいみそ味おかず（植松 良枝ほか 著）
- 児童書（39冊）
 - よみもの／雨・あめ（ピーター・スピアー 著）
 - 絵本／こわがりやのしょうぼうしやうくん（戸田 和代 著）
 - よみもの／アンナの赤いオーバー（ハリエット・ジ・フェルト 著）

ふたりだけのとっておきのいちにち

ヘレンダンモア 著・レベッカコップ 絵

小さな街にやってきたロビーと、迎えるリン。やがてロビーが帰る日がやってきますが、離れたくないふたりはこっそり街を抜けボートに乗り、ひみつの島にたどり着く。そこでふたりが過ごした時間は…。

